

令和元年 第5回 仙北市議会定例会 議案質疑 通告要旨

議案第77号 仙北市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する 基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

16番 高久 昭二 議員

- 1 仙北市特定教育・特定保育・特定地域型保を求める対象となる児童は、どういう条件の場合認められるのか。
- 2 上記対象となる保育を必要とする児童を受け入れる仙北市の施設はどのくらいあり、また専門指導員、保育士の体制はどうなっているのか。
- 3 これまで、仙北市では何件、この条件とする児童を対象とされたのか。
- 4 上記のケースの場合、原則として保育料が免除されると思うが、その分は、国、県から補填されるのか。

3番 高橋 輝彦 議員

- 1 消費税率の引き上げによる財源の活用や仙北市独自の助成により、10月1日から実施される幼児教育・保育の保育料無償化の具体的な内容について伺う。
- 2 副食費の助成については、6月定例会での一般質問に対する説明では、10月1日から月額4千円とし、第二子以降は無料。第一子は、年収360万円未満は無料とし、640万円未満は1/2を負担(県と市が1/4ずつ負担)、640万円以上は3/4を負担(県と市が1/8ずつ負担)するとしていたが、本定例会では、副食費と行事費を全額助成することにしたとのことだが、幼児の年齢や世帯の年収を問わず、第一子からすべての幼児が対象になるのか伺う。

5番 高橋 豪 議員

- 1 幼保無償化により保護者負担が軽減されるが、これまでと比較した場合、全体として、どの程度の軽減となるのかについて伺う。
- 2 無償化の対象外となる利用者はどの程度となるのかについて伺う。
- 3 待機児童等については、そもそもこうした負担軽減の恩恵を受けることができないため、これまで以上に待機児童を生まない方策が求められる。
現状と今後について伺う。
- 4 改正子ども子育て支援法中の無償化基準に関する内閣府令の条文に40カ所以上の誤りがあったことが報道されている。内閣府では既に訂正しているようだが、本市では確認しているのか。
また、本議案における条文改正も多岐にわたるが、影響はないのか。
また、誤りはないか。

議案第79号 仙北市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

16番 高久昭二 議員

この度の給水条例の一部改正の具体的内容について

議案第81号 令和元年度仙北市集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

16番 高久昭二 議員

この度は、同特別会計補正予算は、どのような内容で支援されるのか。

議案第85号 平成30年度仙北市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について

16番 高久昭二 議員

仙北市内の下水道の加入状況、及び今後の見通し、特に老朽管インフラ整備等にかかる費用等について

議案第88号 平成30年度仙北市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

16番 高久昭二 議員

この度、黒字決算になった経緯、及び短期保険証、資格証明書の発行状況及び対策、具体的税率引下げの中身について（世帯平等割の廃止等含め）

6番 熊谷一夫 議員

	平成30年度	平成29年度	前年差額
・収入率	76.07%	67.2%	(+8.9%)
・収入済額	3,196,163,625 円	3,807,075,968 円	-610,912,343 円
・不納欠損額	21,653,015 円	51,084,357 円	-29,431,342 円
・収入未済額	159,289,029 円	225,819,635 円	-66,653,606 円
・一般会計繰入金	252,323,038 円	260,044,571 円	-7,721,533 円

1 意見書のP.49 不納欠損額の概要を見ると、3年時効が650件、5年時効が2,655件、合計3,305件である。減免措置を講じて不納欠損となった件数は、何件か、その金額と理由は？

2 徴収率が現年課税分94.2%、滞納分32.2%合計76.07%と前年比8.9%増となり、不納欠損額、収入未済額が大きく下回った。収納推進への努力を評価したい。

しかし、依然として年2千万円以上の不納欠損と1億5千万円以上の収入未済額である。一般会計からの繰り入れも2億5千万円を超える。

これからの収納対策と数値目標について伺う。

- 3 コンビニ収納、クレジット収納サービスの件数、金額等の収納状況と今後の利用状況について伺う。

5番 高橋 豪 議員

市政報告では、平成30年度決算において、国保財政調整基金に1.5億円の積み増しをした結果、基金合計額が3億6,200万円、繰越金と基金積立金を合わせて5億9,900万円となったことにより、今後国保税率の引き下げを検討する旨が述べられている。

これら要因について確認すると共に、具体的に来年度に向けて国保税率をどのように変更するのかについて伺う。

議案第94号 平成30年度仙北市病院事業会計決算認定について

16番 高久 昭二 議員

市立角館総合病院赤字決算を踏まえ今後の対策について
医師確保、メンタルヘルス病棟を含め

5番 高橋 豪 議員

- 1 平成30年度決算においては、外来・入院患者とも大きく減少し、収益も悪化している。角館病院のメンタルヘルス病棟の休床もその大きな要因の一つであるが、休床中の病棟について今後どのようにするつもりなのかについて問う。
- 2 慢性的な資金不足状態に対し、一般会計から多額の繰入れをすることは、市の財政状況を圧迫することはこれまでも指摘されているところではあるが、経営は今後とも一層厳しくなることが予想される。

今後の経営改善策と、現在導入している外部コンサルタントによる取り組みはどのように進んでいるのかについてを問う。